

医療介護従事者の方へ

リハビリテーションについて ご相談ください!

無料

こんな困りごとはありませんか?

サービスの
必要性はあると思うが
ご本人の意欲が湧かず、
家族が困っている。

手術で体力が
かなり落ちた状態で
退院するけれど、今まで通りの
サービスで大丈夫?

通所サービスは
終了して、自宅で続けられる
効果的な運動方法は
あるかな?

転倒後自宅で
横になって過ごす時間が
増えた。どうしたらいい?



ケアマネジャー

利用者が能力を発揮し、その人らしい
生活が送れるよう、リハビリテーション専門職が
自立支援に向けた助言を行います。

事業所相談

介護サービス事業所等に出向き、カンファレンスや支援者向けの勉強会等で助言等を行います。また、必要に応じて利用者の個別相談を行い、支援者の方々の支援技術の向上のお手伝いをします。

個別事例相談

必要に応じて相談者と同行訪問し、利用者の身体機能や生活課題等のアセスメントを行い、運動メニューや負担の少ない動作の提案、福祉用具等の環境調整について助言・提案します。

お電話・FAX等でご相談ください。

北九州市の委託事業で、市内2か所の医療機関が対応します。

※訪問等で対応できない場合がありますが折り返しご連絡いたします。
※相談者の事業所が所在する区を担当するセンターにご相談ください。

北九州市HP
詳細はこちらから→



東部地域リハビリテーション支援センター

(医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院)

西部地域リハビリテーション支援センター

(社会医療法人共愛会 戸畑リハビリテーション病院)

連絡先	☎ (080) 9068-9417 FAX:581-3319 担当者：砂川・森山	☎ (080) 6408-7271 FAX:861-1503 担当者：大森、田原、志田
担当地域	門司区・小倉北区・小倉南区	若松区・八幡東区・八幡西区・戸畑区
対応時間	月～金曜日 9時～17時 ※年末年始は除く	

事業等に関するお問い合わせ先

北九州市保健福祉局地域リハビリテーション推進課 TEL : 093-522-8724

支援例①

本人の活動・参加に向けて環境調整等を実施した70代女性

支援者の
相談内容

浴室で転倒し、外出に自信がなくなった。
リハ専門職の見立てや意見を聞きたい。

同行訪問の
支援内容

【屋外での歩き方を評価】

シルバーカーを使って歩行が安定することを確認した

【自宅内の環境調整】

転倒時の状況を確認し、身体機能に合わせた手すりの位置などを提案した

【今後の見立て】

ひとりで外出できるよう、歩行練習ができるリハ特化型の通所をすすめて、
本人が前向きになるような声かけをした

支援後の
本人・家族
の変化

- ・サービス利用に消極的だったが、勧められた通所を利用し始めた。
- ・玄関や浴室等にスロープ・手すりを設置し、安全に移動ができるようになった。
- ・目標にしていた孫の結婚式に参加できた。支援していた夫の安心感につながった。

相談者の感想



リハ専門職の視点はケアマネとして勉強になります。
優しくアドバイスしてくださり本人の意欲が上がりました。
難しいと思っていたシルバーカーを使ってデパートまで行けるようになり、本人も家族も喜んでいます。

支援例②

家族の負担軽減のため、動作指導や医療等の必要性を助言した70代男性

支援者の
相談内容

奥様も体調を崩し、介護をするのが大変。
負担が少ない介助方法を教えてほしい。
本人の心臓の病気が悪化しているので、
継続して受診する必要性を伝えたい。

同行訪問の
支援内容

【負担の少ない介助方法の助言】

股関節脱臼のリスクがあるご本人が安全に動ける方法や、妻の負担が少ない
介助方法を助言した

【医療に関する説明】

病気が悪化した時の危険性をわかりやすく伝えた

支援後の
本人・家族
の変化

- ・入浴やトイレ動作について、自分自身の力でできることが増えた。
- ・本人ができる動き方を妻が理解して介助することで、楽に介護ができるようになった。
- ・本人が受診しないといけないと思うようになった。

相談者の感想



専門職による助言は自分たちでは気づかないことや知らないこともあり、受診につながったことは大きかったと思います。
助言をすぐに生かすことはできなくても、その後も自分たちが継続して伝えることができます。その後通所サービス利用して、その時間に奥様も受診されているようです。本人だけでなく、家族にも助言してくれて助かりました。